

“中国”という国を今だから知りたいー中国百科検定特別講座 公式テキスト執筆者に聞く「文化・芸術・風俗習慣」

受講のおすすめ

『中国百科検定』は「日中両国の関係改善のためには、まず相手国への理解を深めることが大切」との強い思いから誕生しました。中国語の能力ではなく、中国の歴史・地理・政治経済・文化等、多方面の知識を問う、日本でも極めてユニークな検定試験です。検定受験を検討する場としてもよい機会となります。皆様のご参加をお待ちしています。

2018年1月
日中友好協会大阪府連合会
会長 渡辺 武
(元大阪城天守閣館長)

テーマ1 「中国現代演劇を考えるー曹禺『雷雨』を中心に」

中国現代演劇は話劇とも呼ばれる。この話劇は20世紀に入って中国で形成された。今回の講演ではその歴史を概観し、その代表作とされている曹禺(そうぐう)『雷雨』を主にとりあげる。『雷雨』は1934年の作品だが、その上演は21世紀に入っても絶えない。また中国だけでなく中国語文化圏のあらゆる地域で上演されている。『雷雨』を中心に話劇の意義と魅力を考えたい。

テーマ2 「文化・芸術・風俗習慣」ー私ならこう読む

日時 1月27日(土) 13時30分～

会場 大阪国労会館・第2会議室(環状線 天満駅下車)

講師 瀬戸 宏先生(摂南大学外国語学部教授)

* 資料代: 500円

* 「中国百科テキスト」、検定問題集 当日販売あります。



講師プロフィール
1952年大阪生。
早稲田大学卒業。摂南大学外国語学部卒業。中国現代文学演劇専攻、その周辺の中国現代史、社会主義論などにも関心がある。主な著書『中国話劇成立史研究』(東方書店)、『中国のシェイクスピア』(松本工房)ほか。

問合せ・申込先 : 日中友好協会大阪府連合会 TEL 06-6372-8131 kentei@jcfaosaka.org

大阪市北区芝田 2-3-19 東洋ビル本館 207号